

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	C 内部管理事業	
事務事業名	堺茶の湯まちづくり事業				事業番号	008-089	
担当部署名	文化観光局	局	文化国際部	部	文化課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
			有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025		無	現状値	—	目標値	—
		施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画		
3	事業開始年度	令和 ー 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 8 年度
4	実施根拠	文化芸術基本法、堺茶の湯まちづくり条例、自由都市堺文化芸術まちづくり条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	一般市民・市外来訪者				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	茶の湯の文化を振興し、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を図る。					
8	事業内容	本市の特色である茶の湯を活かした事業について、関係部局と連携し、各文化施設や区役所、2025年大阪・関西万博等において、お茶会や茶の湯文化を体験できるイベントを実施した。 【主な取組内容】 万博会場でのお茶会やワークショップなどの実施 利品の杜の指定管理業務として区役所でのおもてなし茶会や呈茶事業の実施 各地域文化会館での茶の湯体験イベントの実施 【協力】 堺市内茶道団体（一般社団法人茶道裏千家淡交会堺支部、武者小路千家大阪官休会堺支部、表千家同門会大阪支部） 市内の大学（大阪公立大、帝塚山学院大、太成学院大等）					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	市内和菓子事業者					
10	公民連携・協働事業	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、さかい利品の杜					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
	文化的環境への満足度	割合	目標値	80	80	80	80
			実績値	70	67		
			達成率	88%	84%		
	当該指標を選定した理由	茶の湯文化に関する事業の実施効果を、市民の誇りの醸成という観点から把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和元年度市政モニター調査で、「茶の湯を含む歴史文化資源に誇りを持っている」と答えた人の割合(過去の実績により設定)					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	茶会の参加人数	人	目標値	180	130	1,650	
			実績値	195	458		
			達成率	108%	352%		
	当該指標を選定した理由	より多くの方に茶の湯関連事業に参加いただくことが、茶の湯文化の定着につながると考えるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	茶会等の参加者の過去の実績に基づき算出					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		堺茶の湯まちづくり事業				事業番号		008-089					
Ⅲ. 投入量													
事業コスト													
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）													
項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度			
		決算		決算		当初予算		決算		当初予算			
13	財 源 内 訳	事業費（a）		220		557		1,539		591		13,000	
		国支出金		0		0		0		0		4,214	
		府支出金		0		0		0		0		0	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他（はなみどり基金）		0		0		0		0		4,000	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		350	
		一般財源		220		557		1,539		591		4,436	
14		人件費（b）		4,570		4,050		4,200		4,200		5,010	
15		年間経費（c）=(a)+(b)		4,790		4,607		5,739		4,791		18,010	
事業費の内訳													
（単位：千円）													
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源
		謝礼金		R7	決算	54	54	印刷製本費（枠）		R7	決算	0	0
				R8	予算	1,350	675			R8	予算	150	75
		消耗品費		R7	決算	77	77	物品等修繕料（枠）		R7	決算	5	5
				R8	予算	378	189			R8	予算	0	0
		食糧品費		R7	決算	27	27	その他報償費（枠）		R7	決算	0	0
				R8	予算	572	222			R8	予算	0	0
		会場費等借上料		R7	決算	0	0	万博関連事業運営委託料		R7	決算	228	228
				R8	予算	100	50			R8	予算	4,000	0
		イベント等委託料		R7	決算	200	200	保険料		R7	決算	0	0
				R8	予算	6,150	3,075			R8	予算	300	150

Ⅳ. 事業の効率性						
単位当たり経費						
17		区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	おもてなし茶会等の実施事業の参加者		人	195	458
	②	上記①にかかる年間経費		千円	557	591
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	2,856	1,290
	算出についての説明等					

Ⅴ. 評価					
費用対効果に係る所見					
18	各文化施設や区役所、2025年大阪・関西万博等において茶会など堺の文化を体験できるイベントを実施し、市民のみならず国内外の来阪者に茶の湯に親しむ機会を広く提供した結果、新聞やニュース等で広く取り上げられ、効果的な情報発信と誘客につながるとともに、単位当たりの経費が改善した。				
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）				
19	市民の方を中心に、気軽に茶の湯に親しんでもらえる機会を創出し、市内における茶の湯文化の定着に寄与した。また、2025年大阪・関西万博等において茶の湯関連の事業を展開したことで、堺の歴史資源である茶の湯文化を国内外に広く発信することができた。				
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）				
20	必要性	■ 高い □ 低い	市民向けの茶の湯体験の機会の提供については、令和元年度から継続して実施している「堺おもてなし茶会」を令和7年度から指定管理業務へ移管し、民間のノウハウを活用した柔軟な事業を実施した。「茶の湯が息づく堺」のロゴマークの作成や2025年大阪・関西万博における取組と連動させ、観光振興と一体的に展開した。本事業は茶の湯文化の継承・普及、歴史文化資源の活用並びに都市ブランドの向上に資するものであり、その必要性及び有効性は高い。		
	有効性	■ 高い □ 低い			